

2014年11月18日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 結婚総合意識調査2014

- ◆結婚式[※]の実施率(実施決定含む)は70.9%
- ◆実施者にとって、結婚式は結婚の実感を高め、周囲から祝福される場に
- ◆結婚式観において、披露宴・披露パーティ非実施者は「お金がもったいない」「注目されるのが嫌だ」といった項目が実施者に比べ高い

※結婚式とは、挙式および披露宴・披露パーティ

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 冨塚 優)が運営するリクルートブライダル総研では、結婚や結婚式について詳細を把握するために、「結婚総合意識調査2014」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<結婚式の実施率>.....P3~6

結婚式の実施率(実施決定含む)は70.9%

- ✓ 挙式と披露宴・披露パーティどちらも実施する割合(実施決定含む):60.3%、挙式のみ実施する割合(実施決定含む):8.4%、披露宴・披露パーティのみ実施する割合(実施決定含む):2.2%

挙式の実施率(実施決定含む)は68.7%。披露宴・披露パーティの実施率(実施決定含む)は62.5%

- ✓ 挙式実施率(実施決定含む)は、全体:68.7%、20代:75.2%、新郎新婦ともに初婚:74.8%、(結婚を決めた当時)妊娠していない:72.0%
- ✓ 披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、全体:62.5%、20代:69.0%、新郎新婦ともに初婚:68.5%、(結婚を決めた当時)妊娠していない:65.3%

<結婚式の評価と実施者・非実施者の特徴>.....P7・8

実施者にとって、結婚式は儀式や記念として結婚の実感を高め、周囲から祝福される場になっている

- ✓ 挙式実施者の挙式への評価において上位項目は、「きちんと結婚の儀式ができた(90.5%)」、「自分たちが結婚したことを実感した(89.8%)」、「結婚の記念にふさわしいものだった(88.8%)」
- ✓ 披露宴・披露パーティ実施者の披露宴・披露パーティへの評価において上位項目は、「二人の結婚をみんなに心から祝福してもらえた(86.5%)」、「結婚したことを素晴らしい記録として残すことができた(84.8%)」、「自分たちが結婚したことを実感した(84.6%)」

結婚式観における披露宴・披露パーティ実施者と非実施者の主な違いは、「結婚式が素敵だというイメージ」「準備の捉え方」「お金」「注目されること」

- ✓ 披露宴・披露パーティの実施者、非実施者について結婚式観の数値ギャップをみると、実施者の方が高い項目は「素敵だ」(31.4pt)、「段取りや準備をするのは楽しい」(28.5pt)、「立派に行くことは、親孝行になる」(27.8pt)であり、非実施者の方が高い項目は「するお金がもったいない」(20.7pt)、「みんなから注目されるのは嫌だ」(14.7pt)、「挙げるのは恥ずかしい」(12.4pt)となっている(数値はポイント差)

<結婚による変化>.....P9

結婚による生活の変化をみると、「家族としての絆が得られる」「好きな人と一緒にいられてうれしい」「精神的安定が得られる」が男女共通の3大要素である

- ✓ 結婚による生活の変化は、「家族としての絆が得られる(男性84.4%/女性86.3%)」、「好きな人と一緒にいられてうれしい(男性81.1%/女性86.0%)」、「精神的安定が得られる(男性78.7%/女性81.4%)」

- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「結婚総合意識調査2014(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「結婚総合意識調査2014」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(<http://bridal-souken.net>)より、ダウンロードいただけます。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

本調査(予備調査含む)

【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

【調査期間】

2014年5月17日(土)～2014年6月19日(木)

【調査対象】

“結婚した時期”を「2013年4月～2014年3月」と回答した、20～49歳の既婚者

【集計サンプル数】

1498人

割付:「厚生労働省 人口動態統計の平成24年度婚姻件数」を基に全国を18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようにサンプル数を割り付けた

追加調査

【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

【調査期間】

2014年5月30日(金)～2014年6月19日(木)

【集計サンプル数】

本調査1498人を対象として、回収があった1456人(回収率97.2%)

【回答者のプロフィール】

【結婚時の年齢×居住地域】

		北海道	東北	北関東	北陸甲信越 (山梨含)	首都圏 [*]	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄
男性	20代(19歳含む)	14	13	14	16	59	18	31	12	7	29
	30代	14	24	15	35	124	34	53	18	11	37
	40代	3	11	10	13	51	17	30	12	3	20
女性	20代(19歳含む)	20	29	22	36	121	35	71	24	12	58
	30代	10	17	14	26	101	30	41	17	7	23
	40代	0	1	2	2	13	4	9	0	1	3

*:「首都圏・男性」に年齢について、結婚時の年齢が不明だったサンプルが1サンプルあり、年齢別分析では除いている

挙式または披露宴・披露パーティを実施した割合

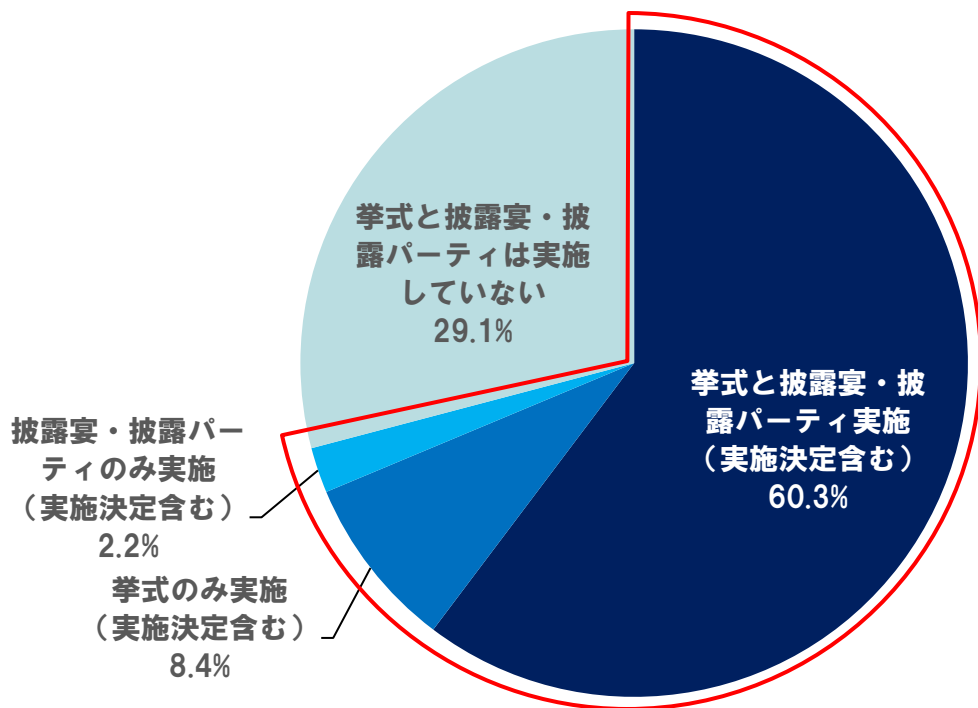
昨年度1年間(2013年4月～2014年3月)に結婚した人を対象に5～6月時点で調査したところ、結婚式の実施率(実施決定含む)は70.9%。

※結婚式とは、挙式および披露宴・披露パーティ

■挙式または披露宴・披露パーティを実施した割合

n:1498

**挙式、披露宴・披露パーティいずれかは実施(実施決定含む)
70.9%**



挙式、披露宴・披露パーティの実施率

挙式の実施率(実施決定含む)は68.7%。披露宴・披露パーティの実施率(実施決定含む)は62.5%。

■挙式の実施率

n:1498

- 実施した
- これから実施する予定
(時期や内容もほぼ決まっている)
- 実施するつもりだが、
時期や内容はまだ決まっていない
- 実施していない
(これからも実施する予定はない)

実施率(実施決定含む) : 68.7%



■披露宴・披露パーティの実施率

n:1498

- 実施した
- これから実施する予定
(時期や内容もほぼ決まっている)
- 実施するつもりだが、
時期や内容はまだ決まっていない
- 実施していない
(これからも実施する予定はない)

実施率(実施決定含む) : 62.5%

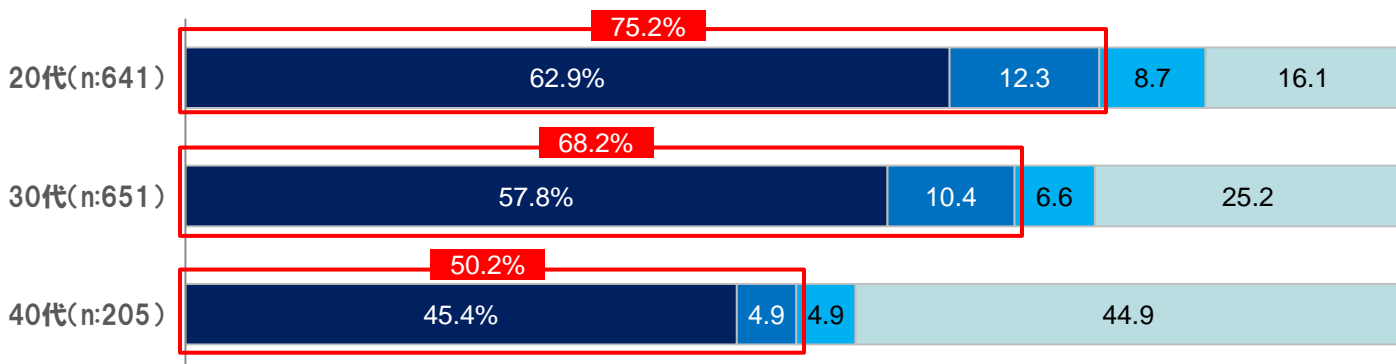


挙式、披露宴・披露パーティの実施率(本人結婚時代別)

本人結婚時代別の挙式実施率(実施決定含む)は、20代:75.2%、30代:68.2%、40代:50.2%。
披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、20代:69.0%、30代:63.4%、40代:39.5%。

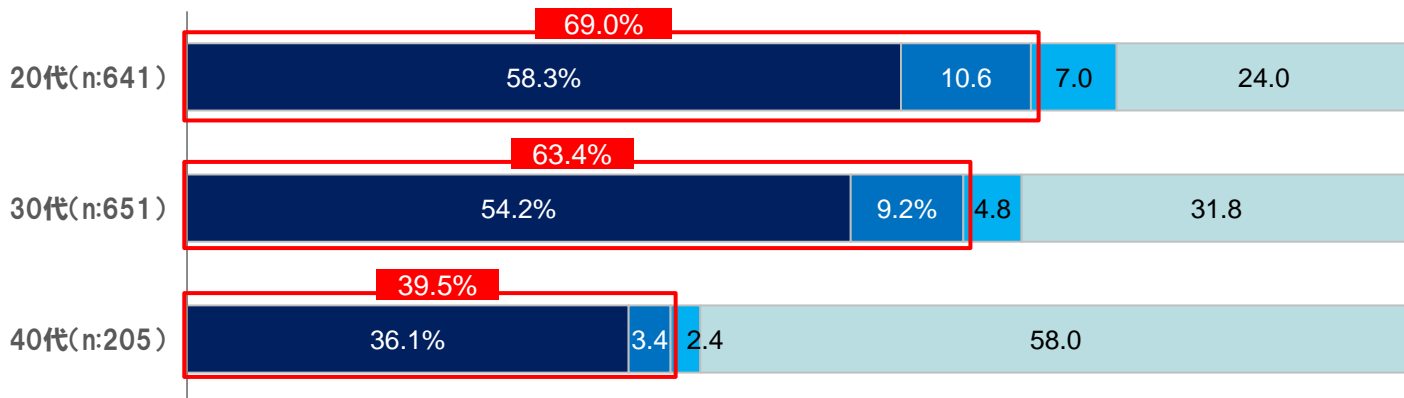
■挙式の実施率[本人結婚時代別]

- 実施した (時期や内容もほぼ決まっている)
- これから実施する予定
- 実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない
- 実施していない (これからも実施する予定はない)



■披露宴・披露パーティの実施率[本人結婚時代別]

- 実施した (時期や内容もほぼ決まっている)
- これから実施する予定
- 実施するつもりだが、時期や内容はまだ決まっていない
- 実施していない (これからも実施する予定はない)

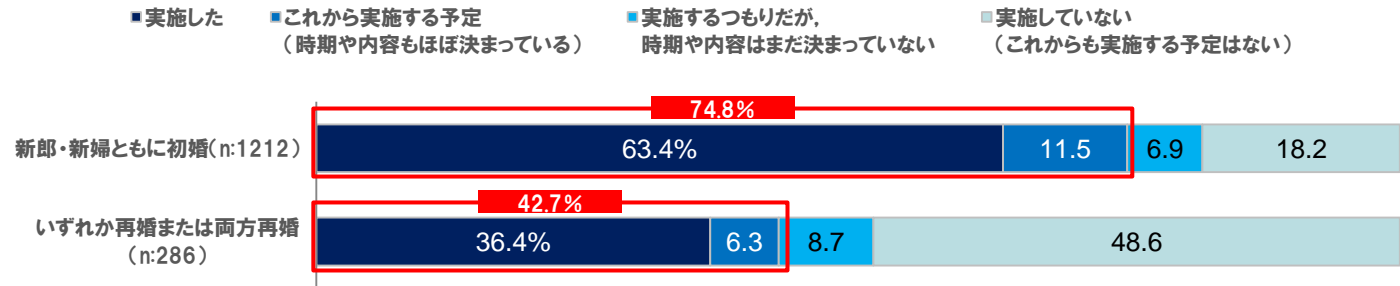


挙式、披露宴・披露パーティの実施率(初再婚別／妊娠状況別)

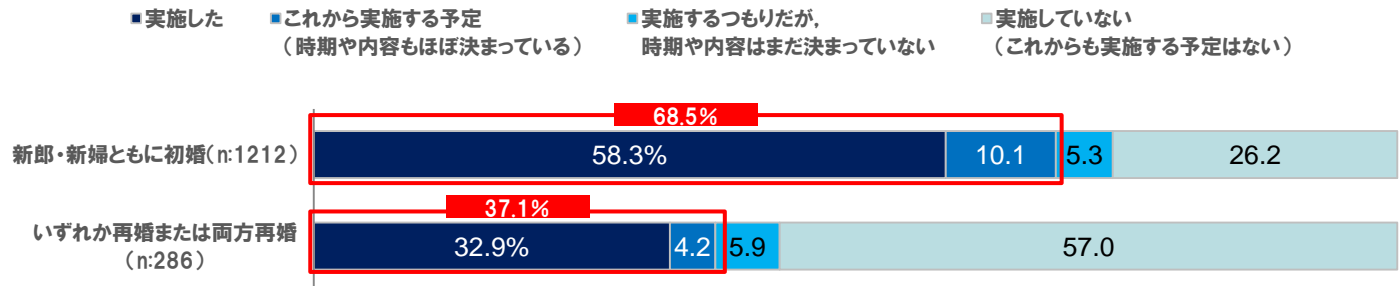
初再婚別に挙式実施率(実施決定含む)をみると、「新郎新婦ともに初婚」:74.8%、「いずれか再婚または両方再婚」:42.7%。
披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、「新郎新婦ともに初婚」:68.5%、「いずれか再婚または両方再婚」:37.1%。

結婚時の妊娠状況別に挙式実施率(実施決定含む)をみると、「妊娠していない」:72.0%、「妊娠していた」:44.1%。
披露宴・披露パーティ実施率(実施決定含む)は、「妊娠していない」:65.3%、「妊娠していた」:41.8%。

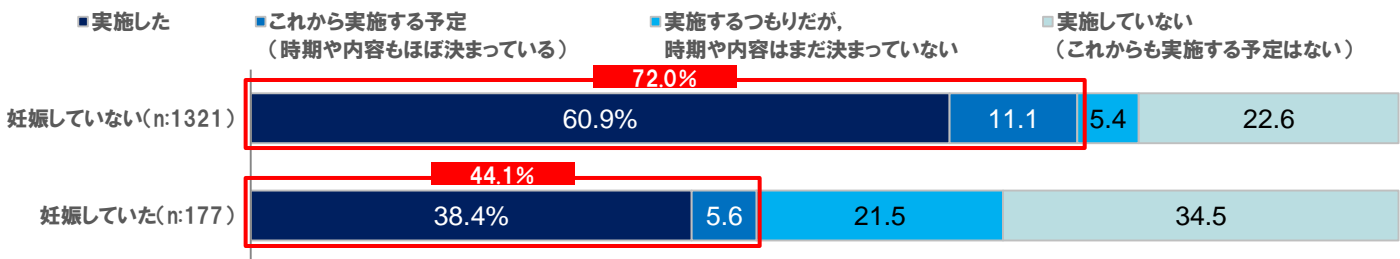
■挙式の実施率【初再婚別】



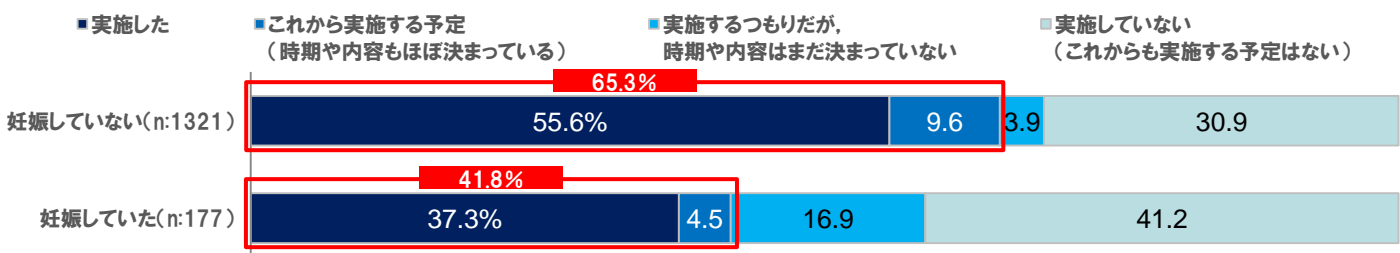
■披露宴・披露パーティの実施率【初再婚別】



■挙式の実施率【結婚を決めた当時の妊娠状況別】



■披露宴・披露パーティの実施率【結婚を決めた当時の妊娠状況別】



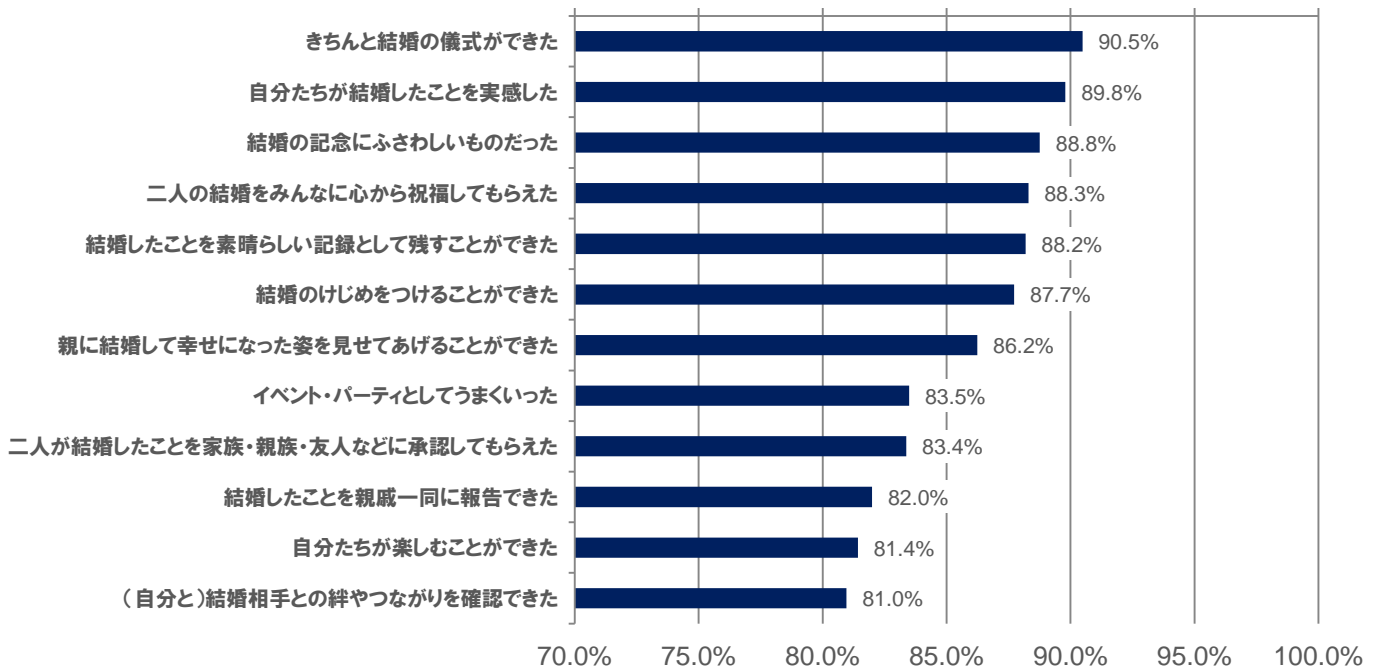
実施者のセレモニー評価(挙式／披露宴・披露パーティ)

挙式実施者の挙式への評価において上位項目は、「きちんと結婚の儀式ができた(90.5%)」、「自分たちが結婚したことを実感した(89.8%)」、「結婚の記念にふさわしいものだった(88.8%)」。

披露宴・披露パーティ実施者の披露宴・披露パーティへの評価において上位項目は、「二人の結婚をみんなに心から祝福してもらえた(86.5%)」、「結婚したことを素晴らしい記録として残すことができた(84.8%)」、「自分たちが結婚したことを実感した(84.6%)」。

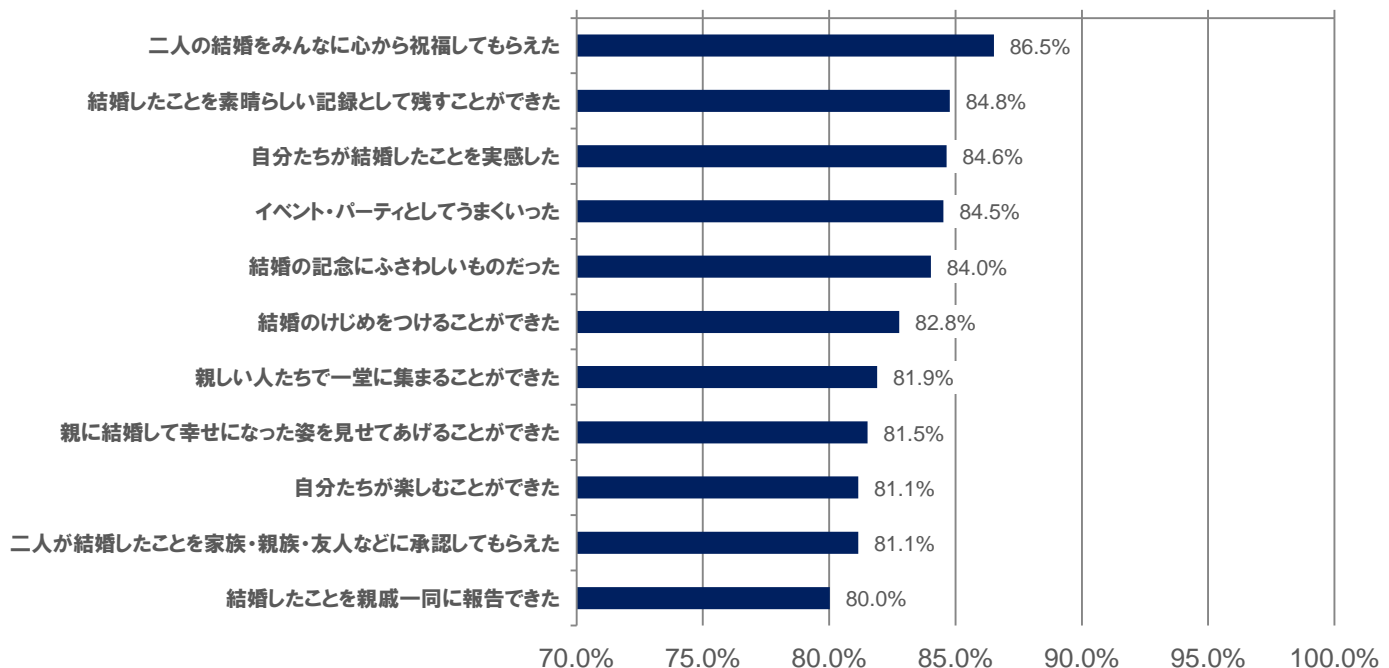
■挙式の評価【挙式実施者／「非常にそう思う」「ややそう思う」計／80%以上の回答のみ掲載】

n:872



■披露宴・披露パーティの評価【披露宴・披露パーティ実施者／「非常にそう思う」「ややそう思う」計／80%以上の回答のみ掲載】

n:801



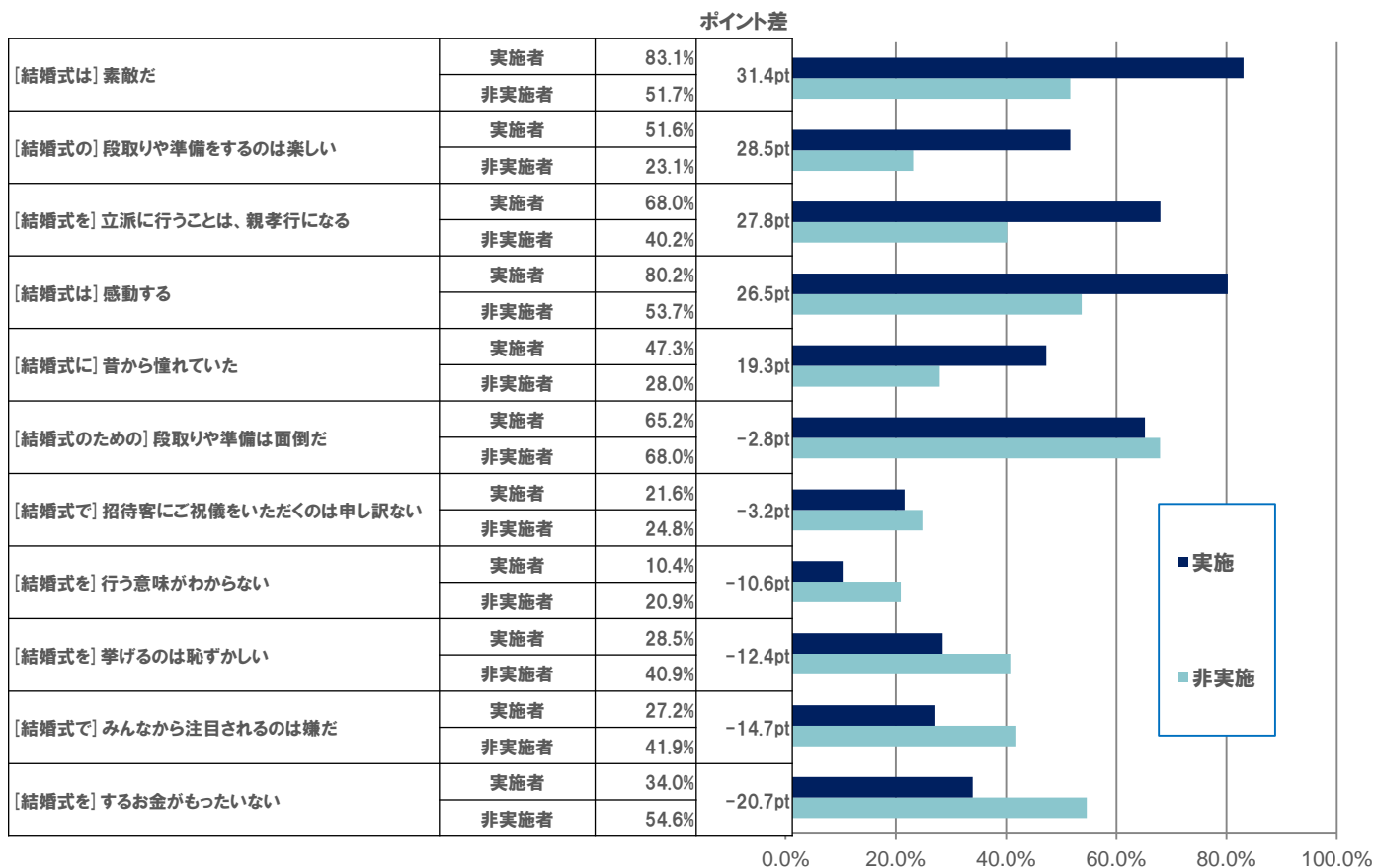
結婚式観(披露宴・披露パーティ実施／非実施者別)

披露宴・披露パーティの実施者、非実施者について結婚式観の数値ギャップをみると、実施者の方が高い項目は「素敵だ」(31.4pt)、「段取りや準備をすることは楽しい」(28.5pt)、「立派に行くことは、親孝行になる」(27.8pt)であり、非実施者の方が高い項目は「するお金がもったいない」(20.7pt)、「みんなから注目されるのは嫌だ」(14.7pt)、「挙げるのは恥ずかしい」(12.4pt)となっている(数値はポイント差)。

■結婚式観【披露宴・披露パーティ実施・非実施別／「非常にそう思う」「ややそう思う」計／実施・非実施ポイント差の順】

n:実施者916／非実施者540

※実施者は、「これから実施する予定(時期や内容もほぼ決まっている)」を含む



結婚による生活の変化をみると、男女ともに「家族としての絆が得られる(男性84.4%/女性86.3%)」、「好きな人と一緒にいられてうれしい(男性81.1%/女性86.0%)」、「精神的安定(安らぎ・寂しくないなど)が得られる(男性78.7%/女性81.4%)」が変化の3大要素である。

■結婚生活観(結婚して生活がどのように変わったか)上位10項目【「非常にそう思う」「ややそう思う」計/男女別】

n:男性713/女性743

